

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	さくらキッズ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 30 年 12 月 12 日

総 評	<p>さくらキッズ保育園は、阪急西向日駅前に位置し、電車を利用する保護者に便利で立地条件も良い環境にあります。平成29年度に定員を増加した30名の乳児保育園です。</p> <p>「人権を尊重し、子どもの目の高さに合わせた保育」の理念のもと子ども一人一人の関わりを大切に、優しく愛情豊かで応答的な保育に努めています。</p> <p>保育士、調理師の共通理解の上に、協働意識も高く、子ども一人一人の欲求を大切に受け止め、細やかで家庭的な保育が展開されています。</p> <p>園の子ども像に掲げてある「心も体も元気な子」の通り、自然との関わりを求めて近くの史跡や公園に散歩に出かけています。地域に対する子育て支援事業として、月2回園庭開放や年1回「わらべ歌遊び、運動遊び、手遊び、ダンス」等の講師を招いて開催しています。</p> <p>保護者に対して、0歳児は4月に保護者が離乳食や普通食を食べさせる機会があります。また、朝夕の送迎時にコミュニケーションを取り連絡帳で相互理解を構築しています。誕生会には誕生児の保護者が参加し給食を一緒に食事し、子どもの食べる様子や栄養摂取面など「食」に関する相談にも対応しています。クラス懇談会等もあり希望者には個人懇談も行なっています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のコミュニケーションを密にし、一人一人の子どもの欲求に丁寧に対応し、愛情豊かに応答的に関わり、無理のないように年間行事を行っています。「心も体も元気な子」の子ども像を目指し、0歳から近くの公園や史跡に散歩に出かけ、地域の人々や自然との関わりを深め、体験による豊かな感性を育む取り組みをしています。 ・0歳児は特定の保育士が一人一人の子どものに応答的に関わり、生理的・心理的欲求を満たし、情緒が安定する保育をしています。また、一人一人の離乳食の食品摂取チェックリストを作成し、献立やアレルギー対策に配慮しています。 ・毎月、誕生会に誕生児の保護者を招待し、一緒に食事をして子どもの食べる様子や栄養摂取面等食に関する相談にも対応しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・単年度の事業計画は、園としてのビジョンは策定していますが、中・長期計画は策定されていません。今後は、法人としての目標や課題を明確にして、数値目標や収支計画を策定されると良いでしょう。 ・園内は明るく、清潔に保たれて室内は適切な温度になるよう空調が設置されています。ただ、2歳児の保育室に温度湿度計は確認できませんでした。どのクラスも適正に室内温度の管理に努め、記録されると良いでしょう。 ・自己評価を組織的に、継続的に保育の質の向上に向けた取り組みまでには至っていません。今後は、保育所全体の保育実践の自己評価に繋がれると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	さくらキッズ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成30年12月12日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項番	m	評価結果	
					s	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	②	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	③	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	b
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	c

[自由記述欄]

・保育理念、保育方針、保育目標が明文化されホームページ、入園のしおりにも記載され、入園のしおりは毎年全ての保護者、職員に入園説明会で配布し、周知しています。

・事業経営を取り巻く環境は、社会福祉事業全体の動向の情報については、情報誌で収集しています。地域の要望により平成29年に10名の定員増に伴い、園舎も増築しましたが、それらについての記録が確認できませんでした。今後は、実施した事業について理事会等の会議の議題に取り上げ、記録を整備されるとなおいでしょう。

・単年度の事業計画や園として向かうべき方向のビジョンは策定されていますが、3～5年を見据えた中・長期計画は策定されていません。今後は、法人としての目標や課題を明確にして、数値目標や収支計画を策定されると良いでしょう。

・事業計画は職員会議やリーダー会議、担当者会議等において職員の意見を集約し、協議、検討して策定しています。

・事業計画は入園説明会で「入園のしおり」や園だよりで説明し、周知しています。今後は、運営全般についての保護者アンケートを実施するなど、保護者の意見も集約し事業計画の見直しをされると良いでしょう。

・保育の質の向上に向けて、年度の初めに職員会議で年間目標、日々の保育の取り組み、毎月の会議で評価・反省、見直しを実施しています。今後は、評価基準に基づいて園の自己評価を行うとともに引き続き定期的に第三者評価を受診されると良いでしょう。

・第三者評価を受診後(平成23年に受診)、職員体制に変動があり、職員間で評価結果の分析や課題の共有がなされていません。前回の評価結果を分析し、課題について改善策や改善計画を策定されると良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	b
		11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	②	総合的な人事管理が行われている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	b
		18	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	b
		19	③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	b
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a	
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	b
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域の交流を広げるための取り組みを行っている	a	a
		24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関との連携が適切に行われている。	b	b
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

・施設長は、職員や子どもの動向を常に把握し、職員会議でもリーダーシップを発揮しています。職務分担表に役割や責任は明記していますが、不在時の権限委任は文書化していません。また、法令のリスト化を図ると共に不在時の権限委任を明確化し規程を整備されると良いでしょう。

・施設長は保育の質の向上について、職員の意見や職員会議で日常的に現場で助言する等、課題を把握し改善する仕組みを構築しています。

・質の高い保育の実現を図るため、職員と個別面談し、完全週休二日制、時間単位有給休暇制度の導入、時間外労働勤務の削減等、職員の業務省力化を図る等働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

・年度当初にクラスの目標や方針を提示し、毎月の会議で保育の振り返りをしています。園全体の研修参加計画の体制は実施されていますが、今後は、キャリアパス制度を利用し、一人一人の研修目標、個人計画を組織的に取り組まれると良いでしょう。

・実習生受け入れマニュアルは整備されています。平成30年度は受け入れ実績はありませんでした。

・事業や保育の基本方針等は、ホームページで公表しています。財務においては専門家と契約し、経営運営は適切に取り組んでいます。園運営規程に職務分掌と権限責任を明確にし、職員に周知されると良いでしょう。

・地域の子育て支援として、月2回園庭開放し、「子育てマップ、すくすくガイド」等情報提供をしています。また、ボランティア受け入れマニュアルは整備していますが、受け入れ実績はありません。

・AEDを設置し、災害のハザードマップも掲示し、年1回子育て交流時「わらべ歌あそび、運動遊び、手遊び、ダンス」等講演会を開催し、地域ニーズに応じ、相談支援事業や多様な支援活動を行っていますが、保育所独自の公益的な事業・活動の取り組みは行っていません。

適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果		
					自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	b	
		29	②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	b	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a	
		31	②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	b	
		32	③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b	
		34	②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b	
		35	③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b	
		37	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	b	
		38	③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	b	
		39	④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	b
			41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	b
		Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
43			②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	b	
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	b	

[自由記述欄]

- ・子どもを尊重した保育について、保育理念にも掲げ職員が配慮するよう取り組んでいます。今後は、プライバシー保護、人権についての園の姿勢に関するマニュアル等を明文化し、保護者の確認事項に関して、同意書を作成し、併せて倫理綱領の規程も策定されるとよいでしょう。
- ・利用希望者に対して、パンフレット、すくすくガイド、ホームページで掲示し、見学者には個別に丁寧に保育の内容や方針を説明しています。
- ・保育の開始にあたり、「入園の案内、入園のしおり」で説明しています。平成27年4月からは子ども・子育て支援法に基づき「重要事項説明書」を配布し、保護者に対して、説明の必要があります。今後は、園のしおりに書き加えて確認事項に同意書を作成されるとよいでしょう。
- ・苦情解決の仕組みは園のしおりにも明記しています。保護者が苦情や意見を申し出やすい様、今後は、玄関に苦情解決の仕組みの掲示やアンケートの実施をされるとよいでしょう。
- ・感染症の罹患児が出た場合、保護者にプリントを配布して情報提供しています。事故発生時の適切な対応と子どもの安全確認の為にも、緊急時の組織体制を明文化し、感染症マニュアル、リスクマネジメント規程を策定し、体制を整備されるとなおよいでしょう。
- ・保育の標準的なマニュアルは以前のひな型はあります。毎月の会議の中で保育の見直し検討をしていますが、今後は、マニュアルを定期的に見直しをされ、機能すればよいでしょう。
- ・子ども一人一人の保育の実施、日々の子どもの連絡事項は職員ノートに記入しています。プライバシーを保護するための管理規定や、記録に差異が生じないようにマニュアルを整備されるとなおよいでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果		
					自己評価	第三者評価	
A-1 保育内容	A-1-(1) 保育課程の編成	46	①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	b	
		A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	b
			48	②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
			49	③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
			50	④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a
			51	⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
			52	⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
			53	⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	非該当	非該当
			54	⑧	障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
			55	⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
	56	⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	非該当	非該当		
	A-1-(3) 健康管理	57	①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a	b	
		58	②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	b	
		59	③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b	
	A-1-(4) 食事	60	①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a	
61		②	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a		

[自由記述欄]

・理念、基本方針、保育目標を基に保育課程を編成し、年度末に職員が会議で見直し話し合いをしていますとのことでしたが、記録が確認できませんでした。保育課程は、保育所保育指針第一章3の(1)に示されている「全体的な計画」に名称を変更し、指針で明記された内容に準じて編成すると良いでしょう。

・園内は明るく、清潔に保たれて室内は適切な温度になるよう空調が設置されています。ただ、2歳児の保育室に温度湿度計は確認できませんでした。どのクラスも適正に室内温度の管理に努め、記録されると良いでしょう。

・毎日連絡帳と保育日誌を公開し、保護者と毎日情報を共有しています。また、誕生日会は保護者が参加し給食を子どもと一緒に食べています。

・園庭のプランターでチューリップやさつまいもを栽培したり、近隣の公園に散歩に出かけたり身近な自然に触れ合えるよう工夫をされています。また、散歩中に交番を訪問したり、園庭開放時に地域の子どもたちと一緒に遊んだり地域の方と接する機会があります。今後は、地域の方が参加できる行事も工夫されるとな良いでしょう。

・一人一人の子どもの個別指導計画を作成し、子ども一人一人の様子や配慮をクラスの職員で共有して、特に0歳児は特定の保育士が応答的に関わり生理的・心理的欲求を満たし、情緒が安定する保育をしています。また、一人一人の子どもの離乳食の食品摂取チェックリストを作成し、献立やアレルギー対策に配慮しています。

・延長保育のためのゆったりと過ごせる家庭的な環境を整備し、一定の保育士が延長保育を担当し、担任とは連絡ノートで子どもの様子を引き継いでいますが、指導計画に記載されていませんでした。今後は、月間指導計画に長時間保育についての保育内容を充実するための内容を記入されると良いでしょう。

・看護師が毎日全園児の健康管理などを記入しています。保護者から聞いた連絡事項は職員連絡ノートに記入し情報を共有しています。0歳児の睡眠時はチェック表を使用し、5分ごとに子どもの様子を把握し、乳幼児突然死症候群に対する配慮がありましたが、個別の記録はありませんでした。今後は、子ども一人一人に合わせた間隔で様子を確認し個別の記録をとられると良いでしょう。

・年2回の歯科健診、内科健診と年1回の眼科健診を実施し子どもの健康状態を十分配慮して保育されていますが、保健に関する計画がありませんでした。保育所指針にも保健計画の作成が求められています。現在行っている事を計画書に反映し作成されると良いでしょう。

・アレルギー疾患の子どものについては、保護者から医師の診断書を提出してもらい対応しています。リスクを考え基本的に卵、バナナは使用せずアレルギー除去食を提供し、別の色の食器をトレーで配膳する等誤食防止に努めています。緊急に対応する為にも今後は、アレルギー対応マニュアルを作成されると良いでしょう。

・園庭のプランターで子どもたちと一緒に野菜作りを楽しみ、収穫を体験する事により苦手な食べ物も食するようになったり、「食」について関心を深める取り組みが行われています。また、運動会前には「頑張ろうランチ」の行事食等季節の旬の食材を提供する等子どもたちが楽しく食事ができるよう毎月、誕生会に誕生児の保護者を招待し、一緒に食事をして子どもの食べる様子や栄養摂取面等食に関する相談にも対応しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	①	保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	b

[自由記述欄]						
<p>・0歳児は4月に保護者が離乳食や普通食を食べさせる機会があります。また、朝夕の送迎時にコミュニケーションを取り連絡帳で相互理解を構築しています。誕生会には誕生児の保護者が参加し給食と一緒に食事し、子どもの食べる様子や栄養摂取面など「食」に関する相談にも対応しています。クラス懇談会等もあり希望者には個人懇談も行なっています。</p> <p>・虐待対応マニュアルを整備しています。</p> <p>・毎日の保育の振り返り見直しをする等職員は自己評価を行い、保育実践の改善や専門性等保育の質の向上に努めています。しかし、自己評価を組織的に継続的に保育の質の向上に向けた取り組みまでは至っていません。今後は、保育所全体の保育実践を自己評価につなげられると良いでしょう。</p>						